

会員の声

## Dr. Kaplan の特別講演へのお誘い アラメダ郡研究の現在

鈴木 庄亮\*

本年10月に開催される第59回日本公衆衛生学会において、特別講演を行う予定の Kaplan 教授が中心となって実施されていた米国アラメダ郡研究 ACS (Alameda County Study) について本欄をかりて紹介したい。

アラメダ郡研究は、1959年カリフォルニア州衛生部の医師 Lester Breslow が中心となって開始された。サンフランシスコ市の対岸にあるカリフォルニア州アラメダ郡の住民から16-94歳の男女コホート集団6,928人を設定し(1965年)、居住地を実験室に見立て観察をつづけることとしたので<sup>1)</sup>、これを HPL (Human Population Laboratory) と名づけた。

調査研究の主体はカリフォルニア州健康サービス部慢性疾患対策課慢性疾患室で HPL の専従職員4人および研究費雇い5人の合計9人で、死亡、転出、転居などの追跡業務も含めて研究と管理を行っている。G. A. Kaplan<sup>2)</sup>がミシガン大学に転出した後、現在の主任は社会学の W. J. Strawbridge<sup>3)</sup>である。ちなみに HPL と並列して、心臓血管病予防室および情報提供、指導、助言を行う疫学特定事業室の2室がある。

研究の目的は、慢性疾患の有病、罹患、負荷に及す、行動的、社会的、環境的、社会経済的、心理的、および文化的な諸要因の寄与を検討することである。さらにこれらの結果の出版・広報、およびこれらの知見にもとづく疾病予防ないし健康増進の戦略の示唆である。

Breslow と Berkman は1965-74年までの追跡調査を単行書にまとめた<sup>1)</sup>。1974年テキサス大学の R. E. Roberts<sup>4)</sup>が参加した。1981-97年 G. A. Kaplan が専任で参加・担当・指導した。1983, 94, 95年に約半数に面接調査をした。1965-1994年の追跡で死亡2,000, 追跡不能1,394人(31.7%)

であった。1999年5月に質問紙による郵送調査実施、30-40%の返送率であった。

HPL 研究は、カリフォルニア州政府の予算が継続的に注入されているほか、各種の財政支援で賄われている。国立健康研究所 NIH もその一つである。CDC (Centers for Disease Control and Prevention) からの疾病予防予算がつき、これが HPL 予算の25%を占めるといふ。

1965-99年のアラメダ郡研究関連の学術論文は165編にのぼる。一般の新聞、雑誌にも関連記事が頻繁に掲載されている。アラメダ郡研究の成果はカリフォルニア州のみならず、全米、さらに広く海外にも、慢性疾患予防の知識と技術の体系に大きく寄与した。我が国のライフスタイルのリスク要因の研究にも大きな影響を与えた<sup>5)</sup>。

この追跡調査は行政府が主体となって35年間に亘って運営され、このように大きな成果を挙げたことは、同時期に開始された他の多くの州政府による追跡調査がとん挫した中で、特筆に値する。

なお、著者らは群馬県健康長寿科学研究事業の支援を得て、1993年から10年計画で中年男女住民約1万人の生活習慣病の心理社会的要因についてのコホート調査を行っているが、その途中で米国のアラメダ郡研究でも中間調査を計画していることがわかり、文部省科学研究費を得て Kaplan 教授らと共同研究をすることになり、1999年8月に渡米して、情報交換と研究討論をし、アラメダ郡研究の歴史と現状を知ることができた。

(受付 2000. 8.17)

## 文 献

- 1) Berkman LF, Breslow L. Health and Ways of Living; the Alameda County Study. 1983; New York, Oxford University Press.
- 2) Kaplan GA, Strawbridge WJ, Cohen RD, et al. Natural history of leisure-time physical activity and its correlates: associations with mortality from all causes and cardiovascular disease over 28 years. *Am J Epidemiol* 1996; 144: 793-7.
- 3) Strawbridge WJ, Wallhagen MI. Self-rated health and mortality over three decades. *Research on Aging* 1999; 21: 402-16.
- 4) Roberts RE, Kaplan GA, Shema SJ, et al. Prevalence and correlates of depression in an aging cohort: The Alameda County Study. *J Gerontol.* 1997; 52: S252-8.
- 5) 星 且二, 森本兼彙. 日常生活習慣と身体健康度. 東京: 医学書院 1985; 65-82.

\* 群馬大学医学部公衆衛生学  
連絡先: 〒371-8511 前橋市昭和町3  
群馬大学医学部公衆衛生学 鈴木庄亮